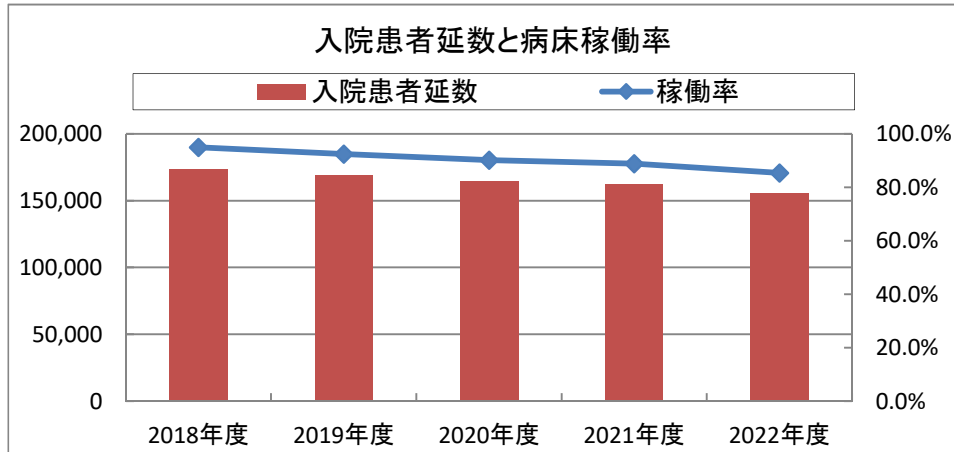


患者さん・ご家族向け

全体

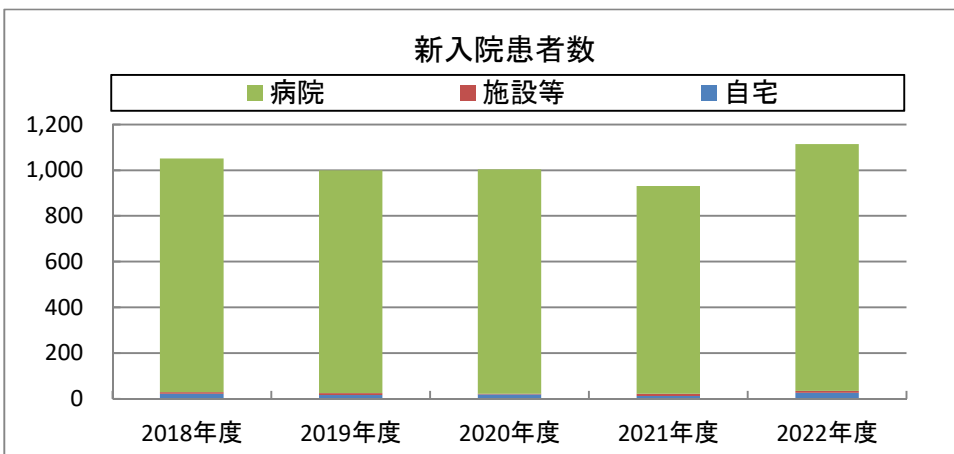
○入院患者延数と病床稼働率



	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
入院患者延数	173,452	169,150	164,525	162,121	155,854
稼働率	95.0%	92.4%	90.2%	88.8%	85.4%

全病床数は500床で、回復期病床168床、医療療養病床254床、障害者病棟78床で運用しています。コロナの影響もありましたが、毎年多くの患者さんにご利用いただいています。

○新入院患者数

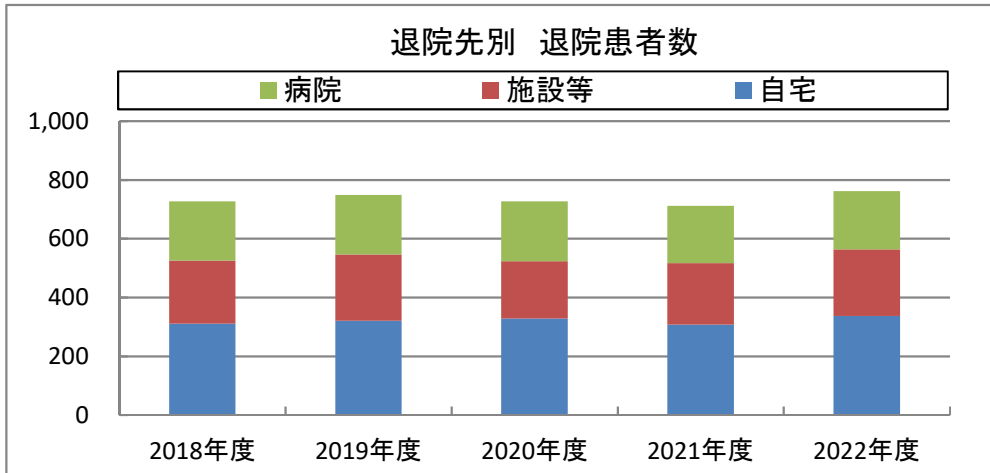


	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
自宅	23	17	19	13	26
施設等	7	8	4	9	9
病院	1,021	974	980	909	1,079

急性期での緊急を要する治療が終わった患者さんを積極的に受け入れています。他の病院から転院され、初めて入院される患者さんに多くご利用いただいています。

患者さん・ご家族向け

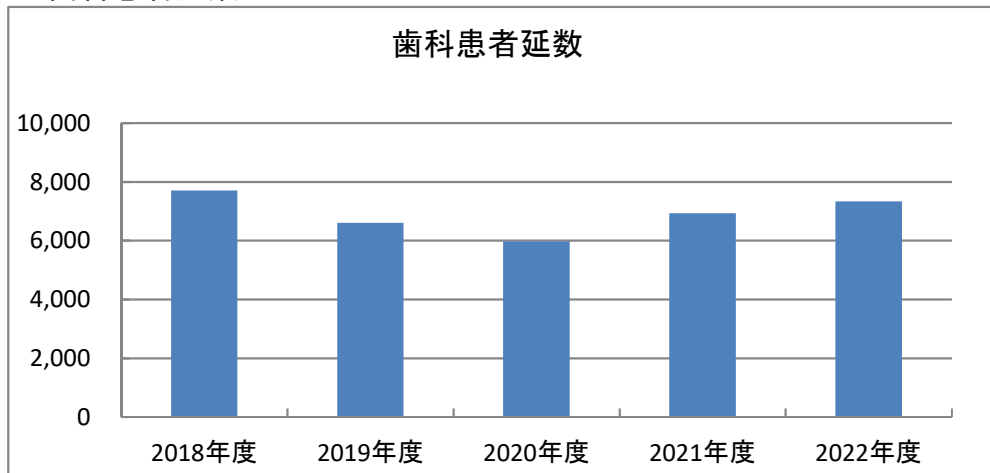
○退院先別退院患者数



	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
自宅	311	320	328	307	337
施設等	214	226	195	210	226
病院	202	202	204	195	199

専門チームで質の高いリハビリテーションや治療を行うことで、ご自宅へ帰られる患者さんが増えてきています。

○歯科患者延数



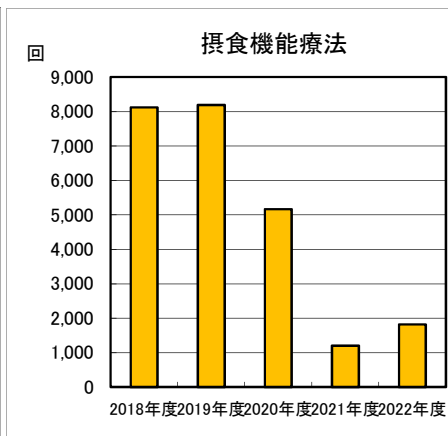
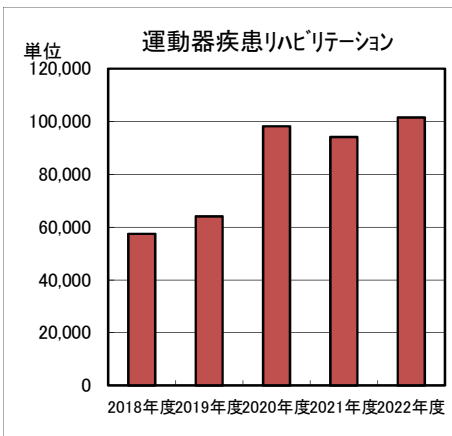
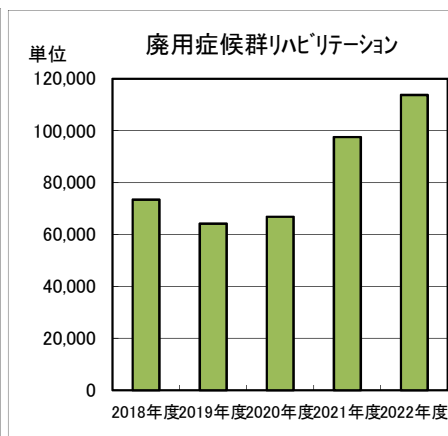
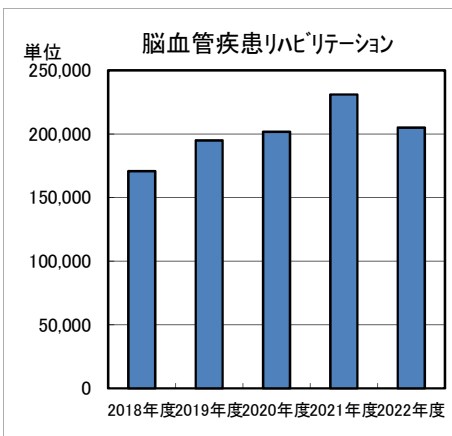
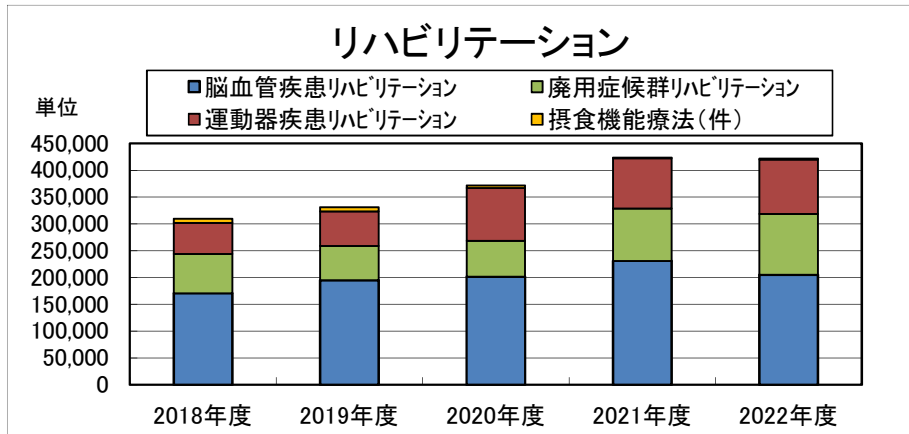
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
歯科患者延数	7,699	6,598	5,973	6,930	7,329

外来の約80%が入院中の歯科受診の患者さんです。早期改善には口腔ケアが大切で、入院中も歯科の専門医が対応します。

患者さん・ご家族向け

リハビリテーション

○リハビリテーション実施単位数



	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
脳血管疾患リハビリテーション	170,703	194,892	201,680	231,024	204,968
廃用症候群リハビリテーション	73,412	64,200	66,857	97,550	113,751
運動器疾患リハビリテーション	57,448	64,073	98,176	94,138	101,491
摂食機能療法(件)	8,116	8,184	5,162	1,201	1,817

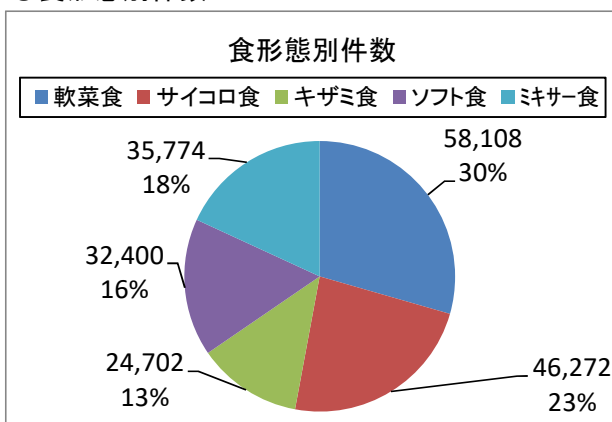
※リハビリテーション1単位＝20分間、摂食機能療法1回＝30分間

脳や脊髄の疾患、骨折や関節の疾患、肺炎など病気後の廃用症候群（寝たきりや安静になることによって、全身に現れるさまざまな衰え）、嚥下障害などへのリハビリテーションを行っています。

患者さん・ご家族向け

栄養部門

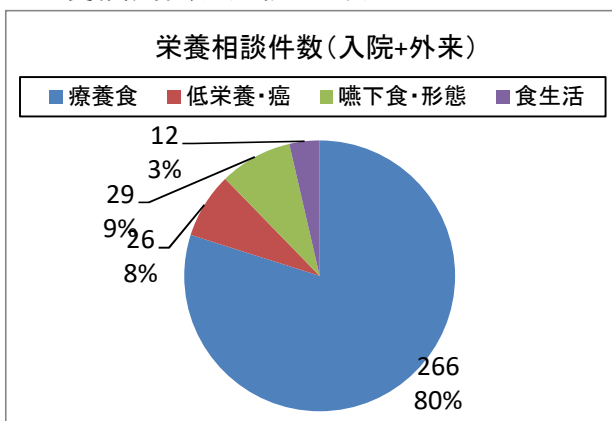
○食形態別件数



	2022年度
軟菜食	58,108
サイコロ食	46,272
キザミ食	24,702
ソフト食	32,400
ミサー食	35,774
合計	197,256

当院では約7割の患者さんが形態調整された食事を食べています。食事の形態はリハビリの進捗状況に合わせて、主治医、管理栄養士、言語聴覚士や歯科衛生士が相談しながらご本人にあった形態で提供しています。

○栄養相談件数（入院+外来）

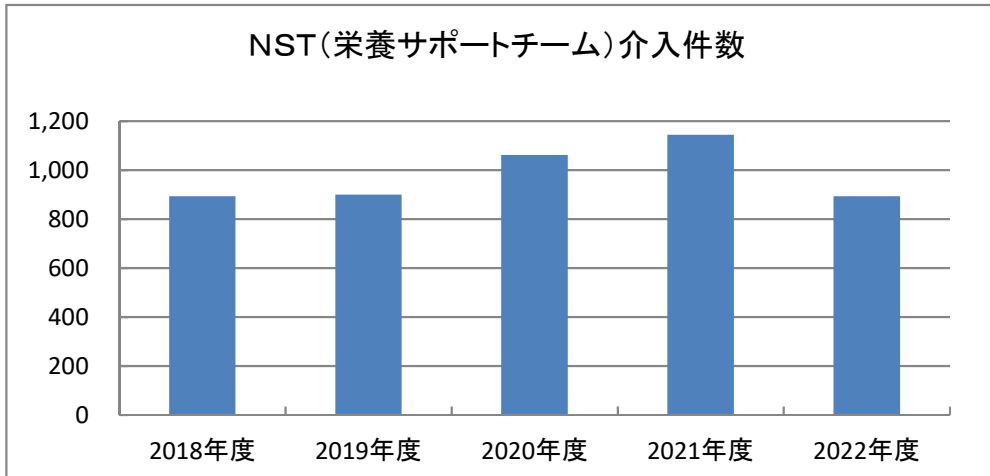


	2022年度
療養食	266
低栄養・癌	26
嚥下食・形態	29
食生活	12
合計	333

当院では管理栄養士が病棟担当制で配置されており、積極的に栄養指導を行っています。リハビリを終えて在宅へ帰る方には、療養食も考慮した嚥下食の作り方や身近で購入できる嚥下食のレトルト食品の紹介も行っています。また、栄養状態が低い方へは栄養補助食品の紹介や使用方法等の指導も行っています。

患者さん・ご家族向け

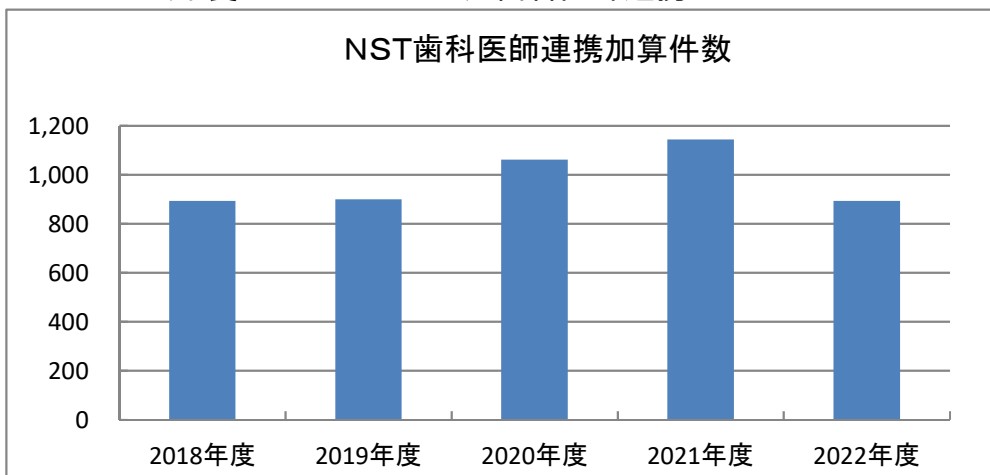
○NST（栄養サポートチーム）



	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
N S T 加算	893	900	1061	1144	893

栄養サポートチームとは、栄養管理が必要な患者さんに対して専門知識を有する多職種が連携し、それぞれの知識や技術を生かし、最善の方法で栄養支援を行う専門チームです。適切な栄養管理の選択・提供を行う事で、必要量が摂取でき、全身状態の改善、生活の質の向上に繋がります。

○NST（栄養サポートチーム）歯科医師連携



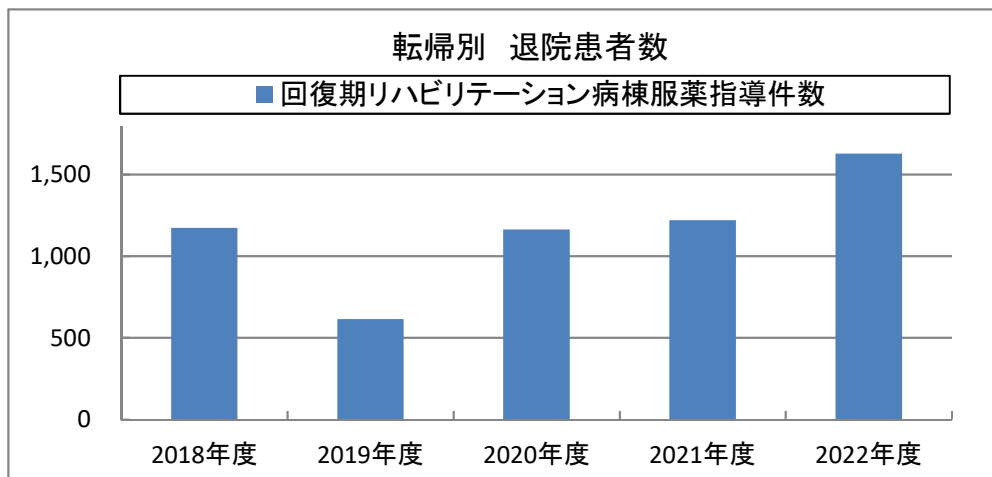
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
N S T 歯科医師連携加算	893	900	1061	1144	893

歯科医師も参画し、患者さんの口腔や摂食嚥下の問題に関し、評価を行っております。歯科にて口腔ケアや歯科治療を行い、口腔環境を整え「口から食べる」ことを支援しています。患者さんの栄養状態の改善を目指し、多職種にてチームアプローチを行っています。

患者さん・ご家族向け

薬剤部門

○回復期リハビリテーション病棟服薬指導件数



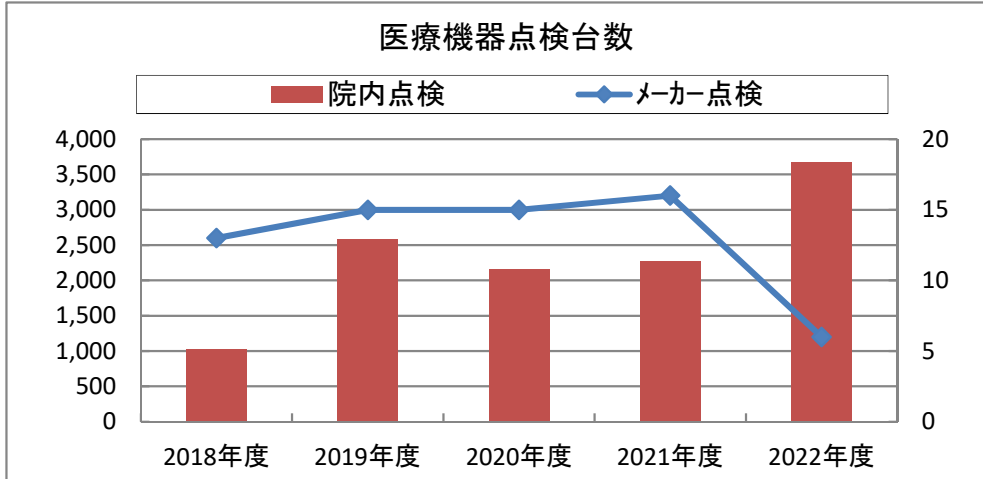
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
回復期リハビリテーション病棟服薬指導件数	1,172	615	1,164	1,220	1,627

回復期リハビリテーション病棟には、担当薬剤師が常駐しています。お薬の飲み合わせの等確認はもちろん、退院後の患者様のライフスタイルに合わせた服薬方法も提案させていただいています。

患者さん・ご家族向け

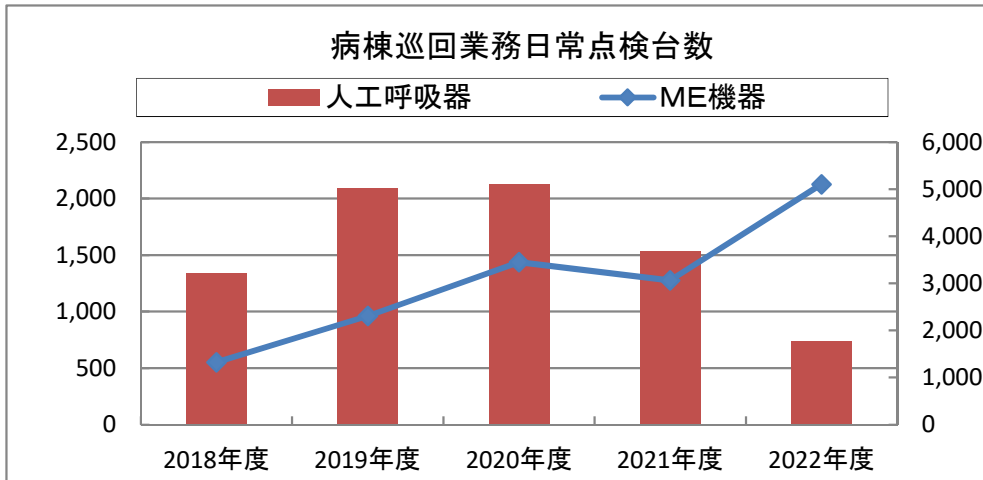
ME（臨床工学）部門

○医療機器点検台数



医療機器点検台数	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
院内点検	1,033	2,585	2,156	2,274	3,672
メーカー点検	13	15	15	16	6

○病棟巡回業務日常点検台数



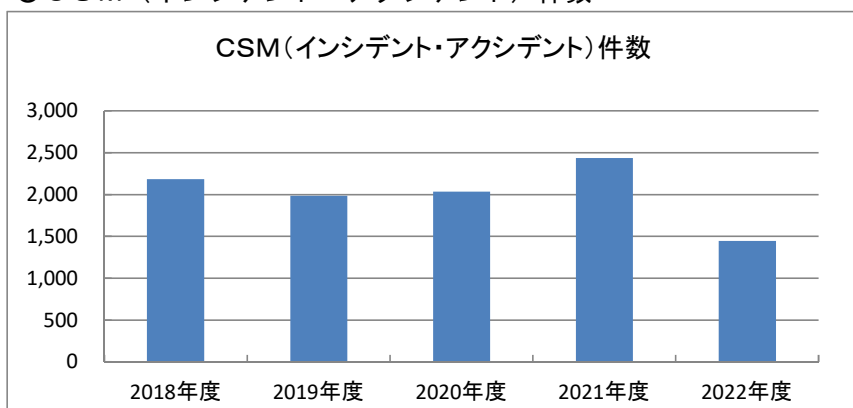
病棟巡回業務	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
人工呼吸器	1,341	2,097	2,125	1,532	735
ME機器	1,323	2,309	3,452	3,066	5,104

ME系では患者さんにより安全な医療サービスが提供できるように定期的に医療機器の保守点検を行っております。また、日々病棟巡回業務にて生命維持管理装置の人工呼吸器や心電図モニター、輸液ポンプ等の日常点検も行っております。

患者さん・ご家族向け

医療安全部門

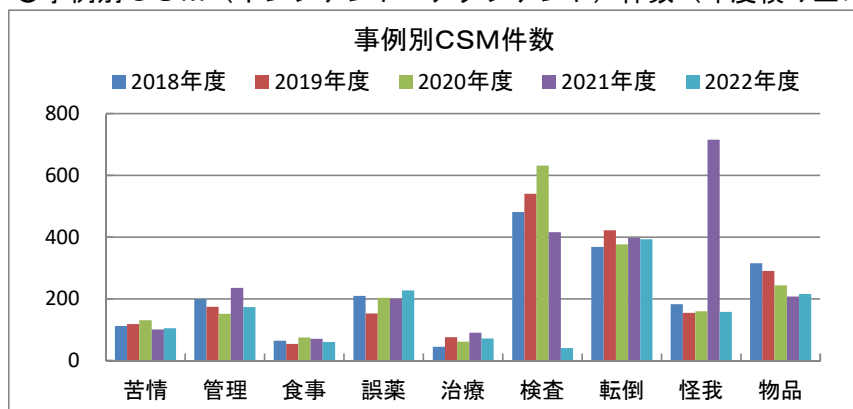
○CSM（インシデント・アクシデント）件数



	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
C S M件数	2, 185	1, 987	2, 037	2, 438	1, 447

当院では医療の現場で起こっている「ヒヤリ」としたり「ハッ」としたことを報告し危険要因を分析し、より安全な環境を提供できるように活動しています。

○事例別CSM（インシデント・アクシデント）件数（年度積み上げ）

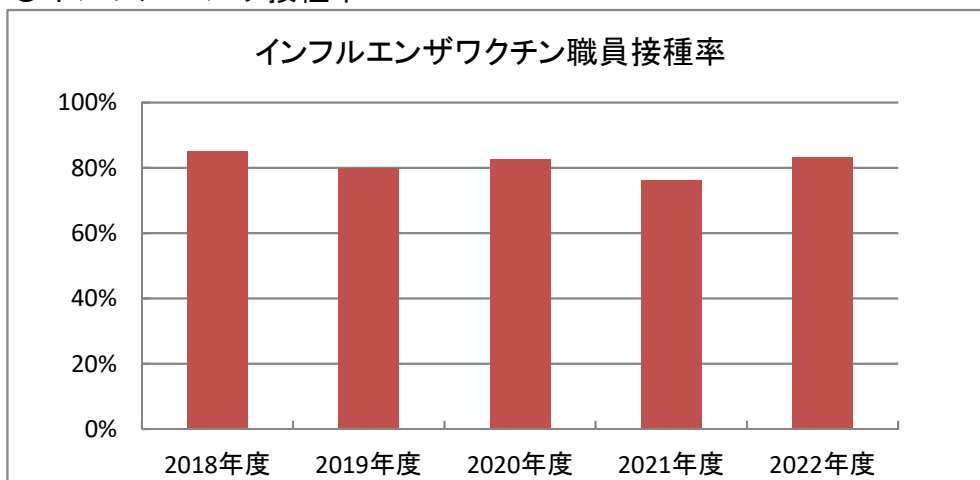


	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
苦情	112	119	131	101	105
管理	200	175	152	236	174
食事	65	54	75	71	60
誤薬	210	153	204	201	228
治療	45	76	62	91	72
検査	482	541	632	416	41
転倒	369	423	377	398	393
怪我	183	155	160	716	158
物品	316	291	244	208	216

毎年転倒による事故が多く発生しています。普段生活されている環境から病院という環境へ移られたことによる要因が大きいと考えられます。カーテンの開閉や物を取ろうとした時、トイレに行こうとした時にふらついて転倒することが多くみられます。さらに、高齢者は骨折のリスクも高く注意が必要となります。2022年度から検査については点滴漏れの報告を不要としたため、減数となっています。

患者さん・ご家族向け

○インフルエンザ接種率



	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
インフルエンザワクチン職員接種率	85%	80%	83%	76%	83%

インフルエンザの持込を最小限にするため、特別な事情の無い限り職員にワクチン接種を推奨しています。